

ジャマイカ便り

第14号 12月

2024年度 青年海外協力隊 馬淵 萌子 青少年活動

ワグワーン！（調子はどう？） 岐阜県のみなさん、こんにちは。JICA 青年海外協力隊 2024年度1次隊、青少年活動で中南米のジャマイカに派遣中の馬淵萌子(まぶち もえこ)です。

10月末、ハリケーン・メリッサはジャマイカ西部にカテゴリー5 という非常に強い勢力で上陸しました。日本人の私たちにとって「カテゴリー5」と言われてもどのくらいの規模かすぐには想像しにくいかもしれませんが、日本でいう最強クラスの台風をはるかに上回る規模のものです。私の任地であるセントエリザベス県は大きな被害を受け、住宅や学校、道路などが広い範囲で損壊しました。現在も地域の復旧活動が続けられています。私に今できることを探しながら、できる限りの活動を続けていきたいと思います。



家の周りの水没の様子



強風で運ばれてきた屋根の一部

今回は、ジャマイカのクリスマスや年末年始の過ごし方について紹介したいと思います。

Christmas

ジャマイカではキリスト教を信仰する人が多く、クリスマスが近づくと街中でツリーやライトなどのデコレーションをよく見かけるようになります。日本のように家庭で飾りつけをする人はあまりいませんが、お店にはクリスマスの装飾が施されています。12月25日と26日は国民の祝日で、ジャマイカの人々は家で家族と過ごすことが多いようです。町によっては、道沿いにおもちゃを売る店がずらりと並び、お祭りのような賑わいになります。



JICA支所の建物内にある
大きなツリー

昨年のクリスマス、配属先では、生徒たちと一緒にクリスマスパーティーを行いました。ジャマイカの人々はことあるごとにパーティーを開くため、飾り付けがとても上手で、風船をさっと膨らませ、手慣れた様子で部屋を装飾していました。



New year

ジャマイカの年末年始事情、ちょっと意外かもしれません。

実は、多くの会社では 1 月 1 日だけが祝日 で、12 月 31 日も普通に勤務。仕事始めは 2 日から、というのが一般的です。

日本のように「紅白歌合戦を見ながらおせちを食べて初詣」というお正月ムードは全くなし。私の周りでは、年末年始だからといって特別に何かをする人もほとんどいません。昨年は正直、「え、もう年明け？」というくらい、年の切り替わりを実感できませんでした。でも、そんな中でも日本らしさをちょっとだけ再現！同期隊員が私の家に遊びに来てくれたので、日本から持ってきたそばで

年越しそばを作って食べました。さらに、ネットをつなげばジャマイカからでも紅白歌合戦を見ることができるんです。



久しぶりに感じた日本の味



同期隊員との年越し



忘年会のビール早飲み大会

2025 年も残りわずかとなりました。みなさんにとって、今年はどんな一年だったでしょうか。10 月には巨大なハリケーンがジャマイカを襲い、このクリスマスや年越しを思うように過ごせない方もいると思います。被災したジャマイカの人々が、少しでも早く日常を取り戻せることを願っています。みなさま、どうぞ良い年末をお過ごしください。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。それでは、また来年、リックルモア！（またね！）